

受験番号

問1. リスト 1 は、変数 num に値を入力してもらい、num が奇数であれば「奇数」、偶数であれば「偶数」と表示するプログラムです。このプログラムの実行結果をよく見て、リストの下線部①～③に入る答えを解答欄に書きなさい。

・実行結果 1

値を入力してください : 81 奇数

← 値を入力
← 結果の表示

・実行結果 2

値を入力してください : 100 偶数

← 値を入力
← 結果の表示

```
#include <stdio.h>
void main(void)
{
    int  num;           // 変数の宣言
    printf("値を入力してください : ");
    scanf(①);           // 値を入力
    if(②)                // 奇数であれば
        ③;              // 結果を表示
    else
        printf("偶数\n");
}
```

リスト 1

問 1 解答欄

合計 15 点

① “%d”, &num

5 点

② num % 2 == 1

5 点

③ printf(“奇数\n”) ;

5 点

受験番号

問2. リスト 2 は、台形の上底・下底・高さをそれぞれ実数として読み込み、台形の面積を計算式とともに表示するプログラムです。このプログラムの実行結果をよく見て、リストの下線部①～⑤に入る答えを解答欄に書きなさい。

なお、実行結果の各値は、それぞれ全体を 6 桁、小数部分を 1 桁で表示しなさい。

・実行結果

上底 : 3.5	← 上底を入力
下底 : 6.5	← 下底を入力
高さ : 5.0	← 高さを入力
(3.5 + 6.5) / 2 * 5.0	← 計算式を表示
= 25.0	← 答えを表示

```
#include <stdio.h>
void main(void)
{
    float    top, bottom, high ;           // top:上底、bottom:下底、high:高さ

    printf("上底 : ");    scanf("%f" , _____ ① );
    printf("下底 : ");    scanf("%f" , _____ ② );
    printf("高さ : ");    scanf("%f" , _____ ③ );
    // 計算式を表示
    printf(" _____ ④ ", top, bottom, high);
    // 答えを表示
    printf(" _____ ⑤ ", (top + bottom) / 2 * high);
}
```

リスト 2

問 2 解答欄

合計 15 点

① &top 2 点 ② &bottom 2 点 ③ &high 2 点

④ (%6.1f + %6.1f) / 2 * %6.1f ¥n 5 点

⑤ = %6.1f ¥n 4 点

受験番号

問3. リスト 3 は、配列 `a[]` に記憶した整数の平均を求めて表示するプログラムです。このプログラムの実行結果をよく見て、リストの下線部①～⑤に入る答えを解答欄に書きなさい。

なお、平均を求める範囲は、配列の先頭要素から、-999 の手前の要素までにしなさい。

・実行結果

平均= 60

```
#include <stdio.h>
void main(void)
{
    int a[]={80, 50, 95, 40, 30, 70, 60, 55, -999};
    int i, sum, ave;

    ① _____; // sumを初期化
    for(i=0; ② _____ != -999; i++){
        ③ _____; // sumに要素を加算
    }
    ave = ④ _____; // 平均を計算して代入
    printf(⑤ _____);
}
```

リスト 3

問 3 解答欄

合計 30 点

① sum = 0 ; 5 点

② a[i] 8 点

③ sum = sum + a[i] ; 5 点

④ sum / i ; 7 点

⑤ “平均 = %d\n”, ave 5 点

問4. リスト4は、引数aとbの値を交換する関数

```
void trade( int *a, int *b )
```

と、この関数を使い配列vの並びを反転前と反転後の状態を表示するmain()関数です。このプログラムの実行結果をよく見て、リストの下線部①～⑦に入る答えを解答欄に書きなさい。

・実行結果

```
反転前 : 1 2 3 4 5 6
反転後 : 6 5 4 3 2 1
```

```
#include<stdio.h>
#define SIZE 6          // 配列の要素数
① _____;         // 関数のプロトタイプ宣言
void main(void)
{
    int v[SIZE] = { 1, 2, 3, 4, 5, 6 };    int i;
    printf("反転前 : ");
    for( i = 0; i < ② _____ ; i++) printf("%d ", ③ _____);
    for( i = 0; i < ④ _____ ; i++)
        ⑤ _____;
    printf("\n反転後 : ");
    for( i = 0; i < ②と同じ ; i++) printf("%d ", ③と同じ);
    printf("\n");
}
void trade( int *a, int *b )
{
    int tmp;
    tmp = *a;    ⑥ _____;    ⑦ _____;
}
```

リスト4

問4 解答欄

合計40点

① void trade(int *a, int *b) ; 5点

② SIZE ; 5点 ③ v[i] 5点

④ SIZE / 2 ; 5点

⑤ trade(&v[i], &v[SIZE - i - 1]) ; 10点

⑥ *a = *b ; 5点 ⑦ *b = tmp ; 5点